

## 小中学校にエアコン、第1期工事完成式典

鈴鹿市立稲生小学校体育館で、小中学校空調設備整備事業 第1期工事完成式典があり参加しました。これは環境省がすすめる「公共施設など先進的CO2排出削減対策モデル事業」として、小学校30校、中学校10校の普通教室等約900教室に10年間のリース方式で空調設備を設置するものです。太陽光パネルや蓄電池も市内何カ所かに設置され、体育館や教室の照明もLED化されていきます。

当初予定していた文科省の交付金事業よりも、補助率が高いことから昨年9月議会で可決されました。2017年度中にはすべての小中学校での工事が終わります。総事業費約40億円で、市の負担は約16億円を10年分割で払います。

子ども達の笑顔が浮かびます。大きな課題になっている学校トイレの洋式化も、これくらいのスピード感を持って、すすめてほしいものだと思います。(3/19)



稲生小学校屋上の太陽光パネル(鈴鹿市HPより)

## 小学校の卒業式に参列

3月17日は小学校の卒業式。鈴鹿市立愛宕小学校では、84人が巣立ちました。

卒業生は、みんな晴れ晴れしく、少し緊張しながら、一人ひとり、校長先生から卒業証書を受け取っていました。ひとつひとつ、大きくなっていくみんなを、先生や家族、地域のみんなが見守っています。元気に頑張ってください。手作り感と、温かみの感じる爽やかな卒業式でした。



■ブログ記事を中心に編集しています。皆様のご意見・感想をお寄せ下さい。

■日々の活動は、HP、ブログ、facebookをご覧ください。

「はしづめ圭一」で検索して下さい。



メール



HP



ブログ

## 政務活動費の報告

日本共産党鈴鹿市議団の政務活動費は、下記の通りです。75%を広報に使っています。個人の市政だより「話の種」は、自費発行です。詳しい「会計帳簿」は、鈴鹿市議会ホームページで閲覧できます。「領収書」のコピーなどは、市役所4階総務課の行政資料コーナーで閲覧できます。

### ■2016年度政務活動費(日本共産党)

広報費	1,362,400円	議会報告(すずか民報)印刷・新聞折込
研修費	364,510円	視察研修参加費
資料購入費	73,090円	書籍・資料購入
合計	1,800,000円	



発行：鈴鹿市議会議員 橋詰 圭一【日本共産党】

No.8 2017年5月号

〒510-0226 鈴鹿市岸岡町2874-1

電話・FAX 059-386-8561

携帯 090 6577 3617

ホームページ [はしづめ圭一] 検索



## マイナンバー関連予算に市税2億9000万円

3月議会一般質問で、マイナンバーの利用と、国民健康保険について質問しました。

マイナンバーカードの鈴鹿市での発行枚数は、14,277枚で、市の人口の7.14%、全国的にも8%程度の普及率で、国民、市民の多くはマイナンバーカードを望んでいません。

また、マイナンバー関連予算は鈴鹿市で、この間、約5億3千万円、そのうち、国の進める事業でありながら市の財政から2億9千万円も支出されているということで、改めて地方自治体泣かせの制度だということがわかりました。

<H26年度から28年度12月末までの経費>

- ・情報システム改修・構築 約2億2千万円
- ・カード交付事務 約1億1千万円
- ・セキュリティ対策費 約2億円

## マイナンバー書かなくてOK

昨年1月からの「マイナンバー制度」実施にともない、社会保障と税の各種申請書に番号記載欄が設けられました。また、「確定申告にマイナンバー必要」と大々的に広報されています。しかし、マイナンバーを書かなくても書類は受付を行い、不利益はないとの見解が確認されました。

政府は今後、金融口座や医療情報への活用も検討していると言われていますが、制度自体やその利用目的などにおいて、多くの問題点も指摘されています。

鈴鹿市としては、市民の権利や個人情報を守る立場から、個人番号・マイナンバーの使用は慎重にすすめてほしいと思います。

## 「国保」市民に寄りそった相談窓口を

鈴鹿市国民健康保険は来年4月から、これまで納税課が徴収していた保険税を、保険年金課が保険料として徴収することになります。窓口がひとつになることにより保険加入者の状況把握が行いやすくなり、収納率の向上も期待されます。

滋賀県野洲市の例をあげて、市民に寄りそった収納業務と、国保と税の相談窓口の設置を提案しました。

### <野洲市のホームページから抜粋>

- 市民生活を支えるための財源(債権)  
→市民生活を壊してまでは回収しない
- 滞納を市民生活支援のきっかけにする  
→滞納は生活状況のシグナル「ようこそ滞納いただきました」
- 債権管理事務の課題  
困っている市民は自ら相談に来ない  
困っている市民を市役所から見つけ、生活支援→生活改善・納付→地域の活性化



# 建て替え、新設された上水道施設を見学

蛇口をひねれば安全で美味しい水がでる鈴鹿市の水道水。普段目立ちませんが市の大事な施設です。老朽化のため建て替え工事が完了した平野送水場と、新設された国

府第二配水池を見学してきました。

上下水道局長の案内で、市議会議員、副議長、産業建設常任委員会委員長と副委員長の私が参加し、担当職員の説明を受けました。2つの施設を合わせた総事業費は約30億円。耐震化も施され、より安全、安心が確保されました。(4/12)



築46年が経過し建て替えられた平野送水場



新設された国府第二配水池 (パンフレットより)

## 小出裕章さん講演「原発の真実とウソ」

津リージョンプラザで小出裕章さんの講演があり、出かけました。

2012年11月の鈴鹿での講演から4年4ヶ月ぶりに、生でお話を聞くことが出来ました。小出裕章さんは、一昨年3月に京都大学(原子炉実験所助教)を定年退職し、信州・松本市に移住されましたが、いまでも、精力的に講演活動を続けています。

原子力は何のために必要か? 「未来の無限のエネルギー源」「安価な発電ができる」「厳重に管理するので安全である」「原発がなければ停電する」・・・そう思い込まされてきましたが、すべてウソでした。しかし、そういうウソにだまされ、夢に酔い続けた私たちにも責任の一端はあります。何の責任もない子どもたちを被曝から守るのが大人の責任、何らかの行動をしましょうと呼びかけました。

原発も核兵器も人類と共存できません。

再稼働も問題ですが、使用済み核燃料の処理も問題です。政府はどこかの地中に埋めようとしています。何百万年も誰が責任を持って管理できますか? 地上の見えるところで管理するしかありません。

さよなら原発三重パレード主催で、毎年この時期に行っている集会も今回で5回目になり、600席の津リージョンプラザはロビーまで聴衆があふれました。講演終了後、パレードもあり、「原発なくそう」の声が青空に響きわたりました。(3/4)



# 伊勢路に春をつげる いきいき鈴鹿ツーデーウォーク

去年は6Kmコース、今年は16Kmコースに参加。朝8時に弁天山公園をスタートし、庄野宿→石薬師宿→寝釈迦まつり→弁天山と歩きました。暖かい小春日和で、春を体中に感じながら歩くことができました。

鈴鹿ツーデーウォークも、今年で4回目。今日は、東は東京、西は熊本からの参加者もあり、末松市長より記念品が贈られました。準備、運営していただいている鈴鹿市民歩こう会ほか関係者の皆さまに感謝します。

来年は、27Kmコースにチャレンジしよ

うかな。そのためにも普段の健康管理と、体力維持ですね。(3/17)



田古知川沿いの桜並木、菜花、水仙、緑の雑草、いのちの息吹を感じる春が好き

## 三重から初の、日本共産党国会議員を必ず!

国有地が8億円引きで払い下げられた『森友学園』問題、安倍昭恵夫人や議員、閣僚の関与は、徹底的に解明されるべきです。

同時に、安倍内閣のめざす「美しい国づくり」の中身も見えてきました。教育勅語

暗唱賛美など、日本国憲法の三大原則「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」とは相いれないものです。

市民と野党が力をあわせて、新しい日本をめざしましょう。



比例東海ブロック3議席を(四日市駅前)

中野たけしさんと街頭宣伝(寺家町)